

令和3年度 第13回県政参画電子アンケート
「SDGs企業認証制度の創設」に関するアンケート結果概要

1 調査概要

- テーマ 「SDGs企業認証制度の創設」に関するアンケート
- 実施期間 令和4年2月25日～3月7日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 744名
- 回答数 457名(回答率 61.4%)

2 目的・概要

鳥取県では、持続可能な環境・社会・経済の実現に向けた経営に取り組む県内事業者について、その取組内容を地域社会、取引先、従業員など様々な関係者に対し見える化し、必要となる資金調達やビジネスマッチングなどの取組内容の推進につながる環境づくり、ひいては企業価値向上を目指すための鳥取県版SDGs企業認証制度創設を検討しています。

認証制度の策定にあたり、会員の皆さまの企業とSDGsに対する現状認識や、今後認証制度に期待する取組等についてご意見をお伺いするため実施しました。

鳥取県版SDGs企業認証制度とは

○2021年11月現在、SDGs(※1)・ESG(※2)に関する開示基準について、国際的に統一されたものはなく、様々な機関が提唱する基準が乱立しており、また、これら国際機関の開示基準は、グローバルに資金調達を行う大企業が取り組むべき内容となっており、必ずしも地域の中小企業等の経営実態に沿ったものとなっていないのが実情です。

○そこで、本県では、国際的な様々な開示基準などをもとに、中小企業等がSDGs・ESG経営に取り組む際の羅針盤として、SDGsとの関連性や重要性が高い評価指標群を再構成し、定量的・定性的に評価する仕組みとして、令和4年4月の本格運用開始に向けて、「鳥取県版SDGs企業認証制度」の構築を進めています。

○SDGsが求められる時代の中で、持続可能な企業経営を進めるきっかけとして、また、そうした企業の姿勢を様々な利害関係者(ステークホルダー)に対して見える化するツールとして本認証を活用いただき、県内企業の価値向上につなげていこうとするものです。

※1 SDGs(外務省HP)

https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf

※2 ESG:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取って作られた言葉。企業が長期的に成長するためには、経営においてESGの3つの観点が必要だという考え方。

鳥取県版SDG s 企業認証制度の特徴（令和4年度以降本格運用時に予定している内容）

- 1 **小規模事業者でも取り組みやすい仕組み「認証支援事業者制度（仮称）」の導入**
認証申請に意欲を有するものの、認証に至らない中小企業等を対象とした支援制度を導入し、金融機関や商工団体、専門家等の伴走支援により、認証取得までサポートを行います。
- 2 **チャレンジ意欲を喚起するインセンティブの導入**
取組目標の実現に向けた資金調達支援、ビジネスマッチングのサポート等を行います。
- 3 **認証制度としての品質保持**
KPI(重要業績評価指標)の設定や進捗報告によるPDCAサイクル(※)を構築し、信頼性のある制度運用を行います。

※PDCAサイクル：PDCAとは、Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字を取ったもので、計画から改善までを1つのサイクルとして行い、管理業務の効率化を目指すこと。

認証内容

申請事業者は以下の書類を提出し、審査会で認証適否に係る審査を実施します。

- 1 **認証チェックシート（以下チェックシート項目一覧を参照）**
「社会」「経済」「環境」の3側面に分類し設定された計30項目の取組内容について、自己チェックを行うとともに、自社目標を設定した上で申請
- 2 **申請書**
企業の基本情報と併せ、SDG s 実現に向けた自社の重点的取組など申請

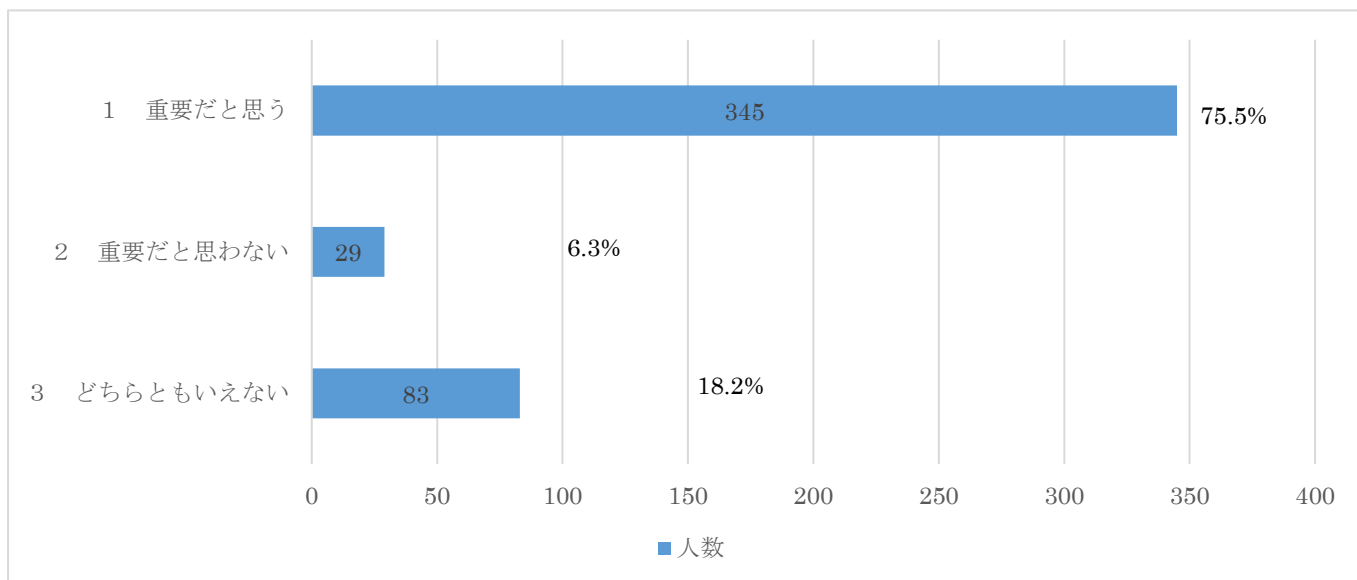
▼ 認証チェックシート項目一覧（SDGsの3側面×各10項目＝合計30項目）

社会	経済	環境
①労働災害の防止 ②ハラスメントの防止 ③女性の活躍 ④障がい者が働きやすい職場づくり ⑤多様な人材の活躍 ⑥多様な働き方の促進 ⑦労働者への人権配慮 ⑧社会配慮型商品・サービスの提供 ⑨地産地消の推進 ⑩地域社会への貢献	①事業継続計画（BCP）の策定 ②セキュリティ対策 ③法令順守の徹底 ④情報公開 ⑤後継者の確保 ⑥コロナ後の市場変化を見据えた対応 ⑦自社以外の経営資源活用 ⑧デジタル化による生産性向上 ⑨雇用の維持・拡大 ⑩人材育成・能力開発	①気候変動リスクへの対応（自然環境） ②気候変動リスクへの対応（社会・制度） ③気候変動リスクへの対応（事業活動） ④燃料消費量の削減 ⑤電力消費量の削減 ⑥再生可能エネルギーの導入 ⑦廃棄物の削減 ⑧水資源の効率的利用 ⑨環境配慮型商品・サービスの提供 ⑩環境面での社会貢献

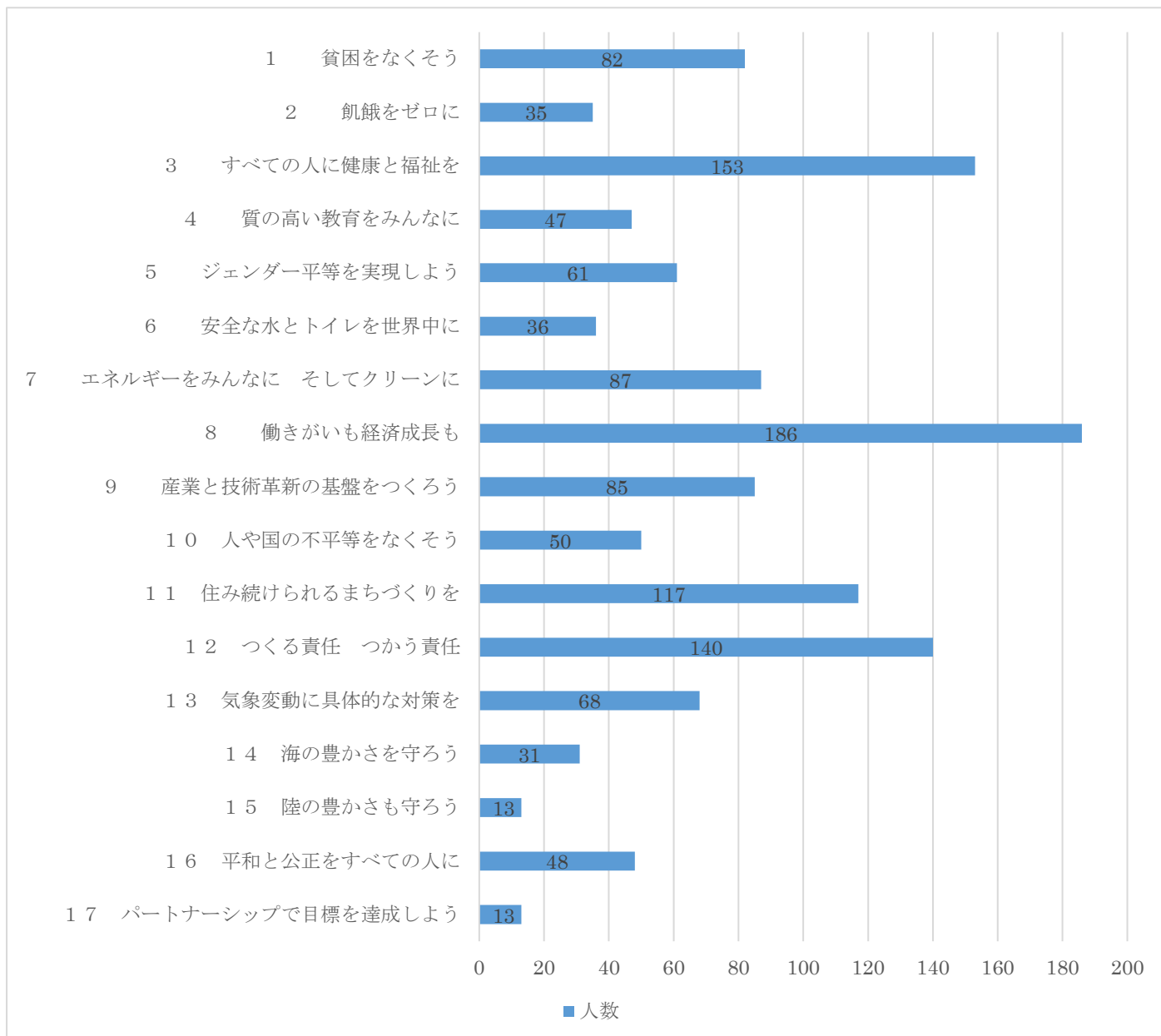
▼ 認証チェックシート記入内容のイメージ

側面	取組項目	取組確認	具体的な取組の例 算出のヒント	現在の取組状況	今後に向けた取組・目標
社会	1 労働災害の防止	○	例えば・・・ ○ヒヤリハットの発生件数の把握や未然防止対策の実施 ○労働災害防止のための安全対策ルール整備 ○労働災害につながる環境や行動を見直すための社員教育の定期的な実施	【主な取組内容】 ヒヤリハットの発生件数を月ごとに把握し、ヒヤリハットの原因となる設備や業務手順等について3ヶ月以内に対策を講じることとしており、労働災害発生時の未然防止に努めている。	【主な取組内容】 社内で規定している安全対策ルールの徹底を図るため、個別の業務計画検討時にルールを確認できるツールを作成する（R5年度中）。またそれに伴う社内研修を行い、職員の活用を促す。

【問1】県内企業にとって持続可能な開発目標(SDGs)17のゴールを意識した取組を行うことは、経営の持続性を高めるために重要だと思いますか。

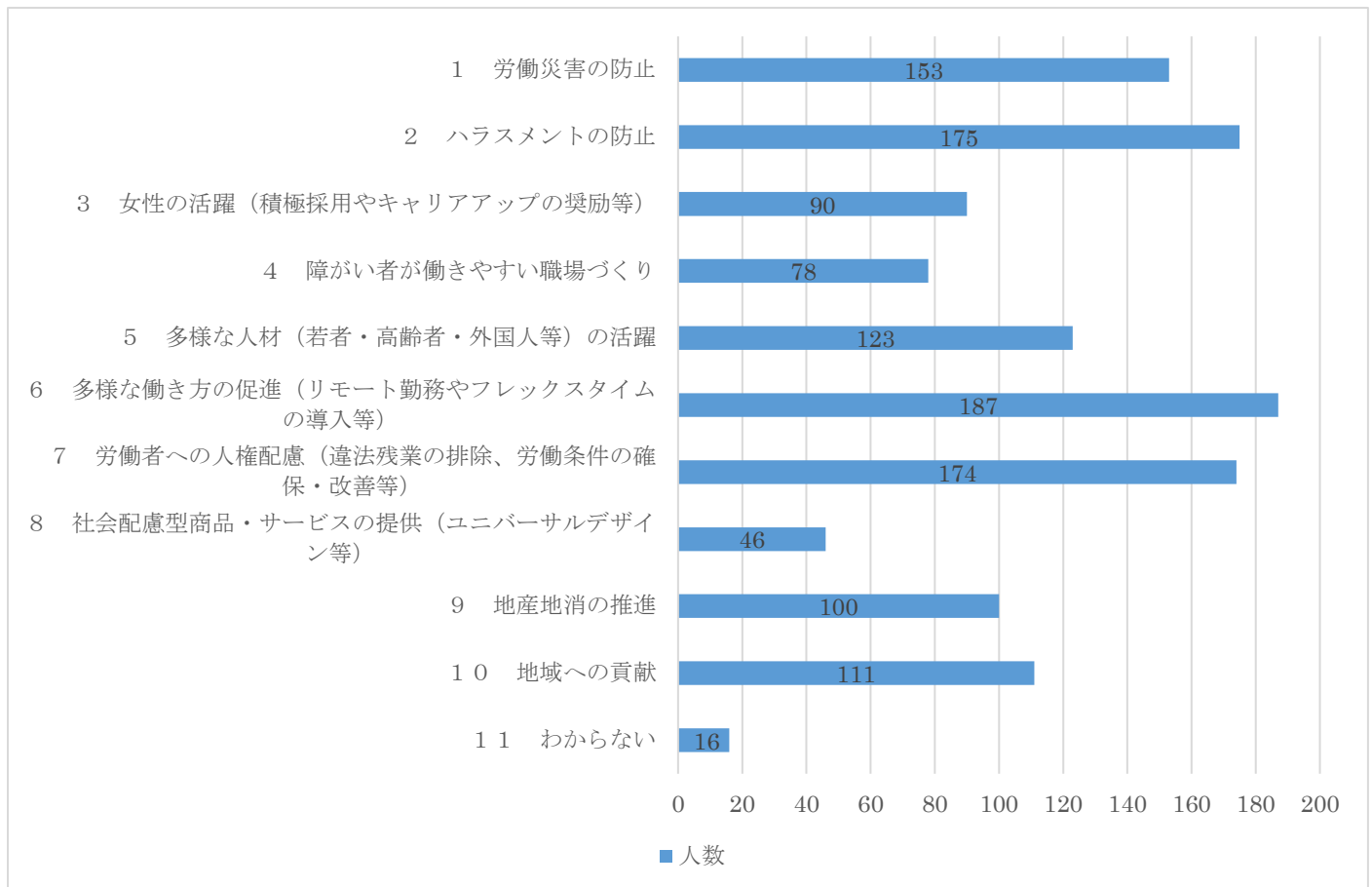


【問2】持続可能な開発目標(SDGs)17のゴールのうち、企業に期待されることは何だと思いますか。



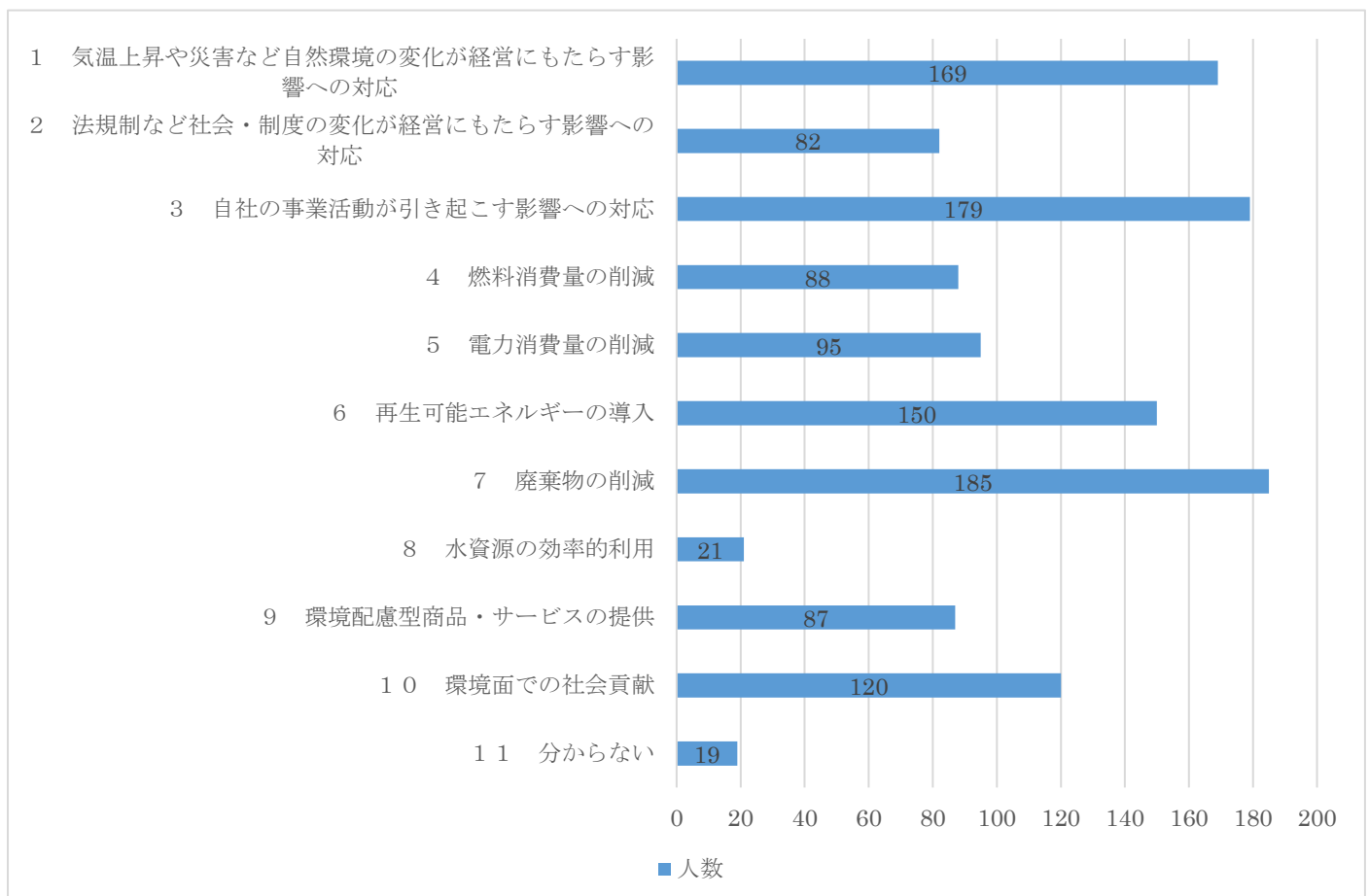
※3つまで選択、457名回答

【問3】SDGs企業認証チェックシートの社会の項目のうち、企業が取り組むべき項目は何だと思えますか。



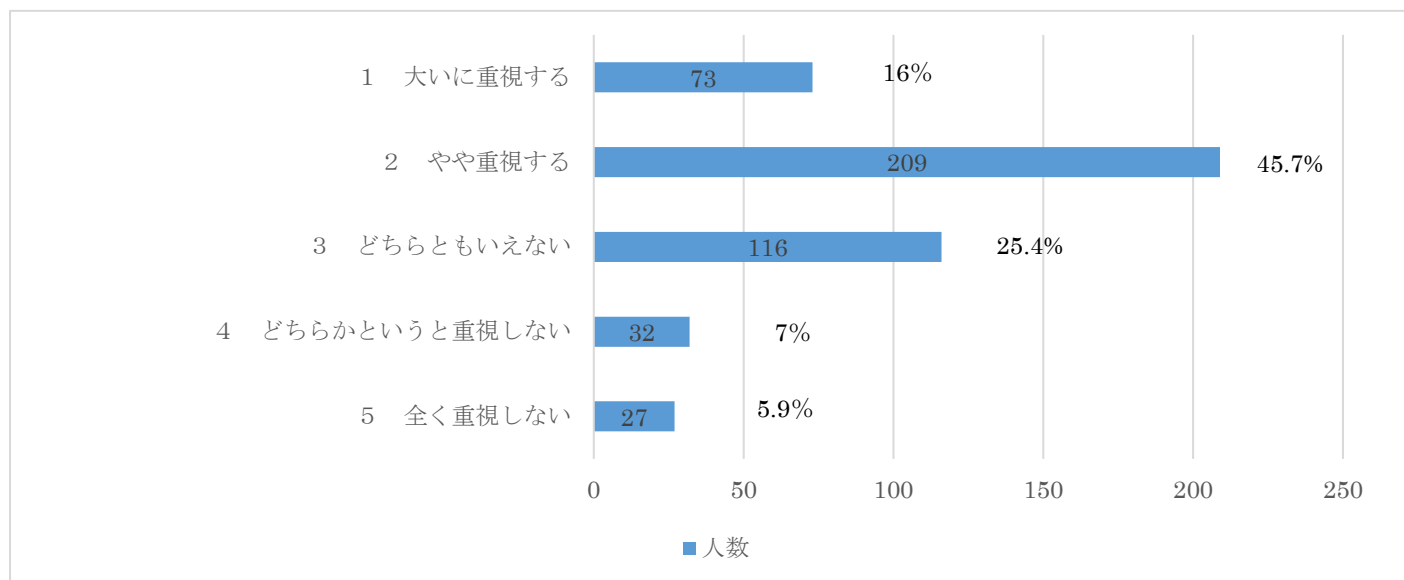
※3つまで選択、回答者457名

【問4】SDGs企業認証チェックシートの環境の項目のうち、企業が取り組むべき項目は何だと思えますか。

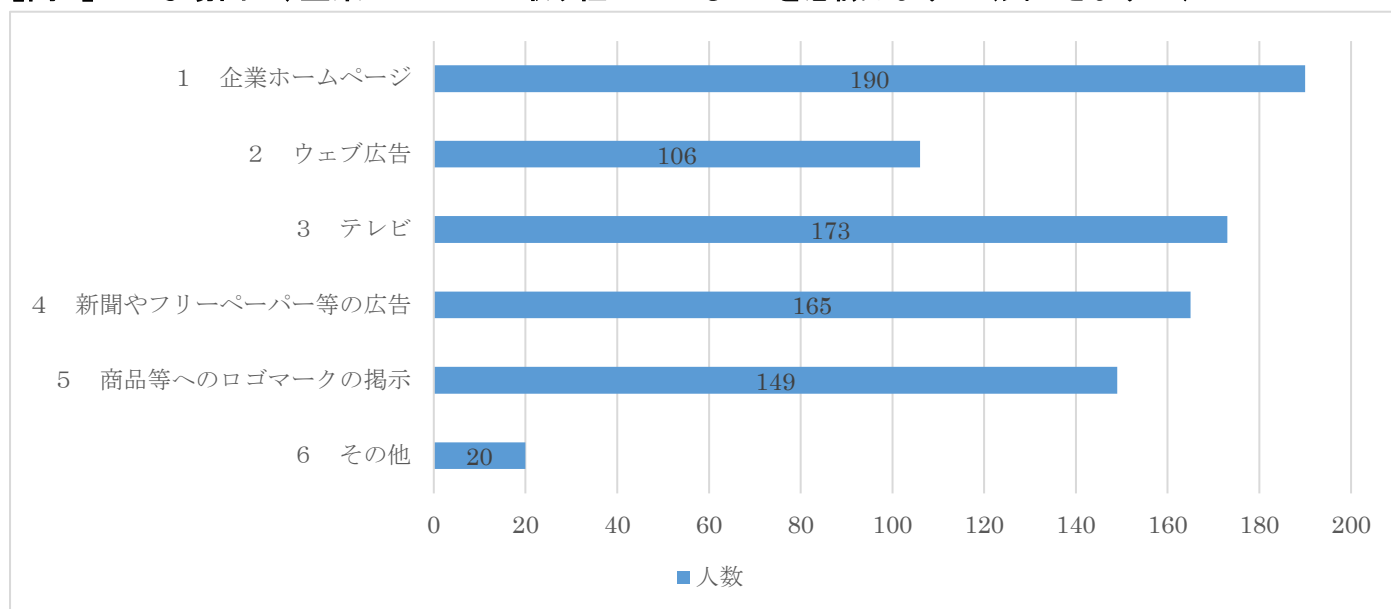


※3つまで選択、回答者457名

【問5】あなたが商品・サービスを選択する際、企業のSDGsへの取組をどの程度重視しますか。一番近いものを1つだけ選んでください。



【問6】どんな場面で、企業がSDGsに取り組んでいることを意識しますか(気づきますか)



※複数回答、回答者457名